

全国協議会 ニュース

2013年4月1日発行
第250号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髓バンク
推進連絡協議会
〒101-0031 東京都
千代田区東神田1-3-4
KTビル3F
TEL.(03)5823-6360
FAX.(03)5823-6365
発行責任者:中野勝博
http://www.marrow.or.jp/
E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

第7回役員選挙のための選挙 開票結果

第7回役員選挙のための選挙の開票を3月20日 全国協議会事務局にて行いましたので、その結果を下記の通り報告します。

2013年3月21日
選挙管理委員長 梅田正造

| | | | | | |
|-------|----|----------|-------|----|----|
| 投票者数 | 32 | 投票率(78%) | 荒井 善正 | 25 | 当選 |
| 有効投票 | 32 | | | | |
| 無効投票 | 0 | | | | |
| 最低得票数 | 10 | | | | |

投票結果【公募理事】

| | | |
|--------|-----|----|
| 候補者名 | 得票数 | |
| 山村 詔一郎 | 31 | 当選 |
| 野平 晋作 | 31 | 当選 |

有権者(団体)数 41

学会でのアピールはやはり重要! 第35回日本造血細胞移植学会参加報告

今年度の日本造血細胞移植学会は、3月7日から9日にかけて石川県金沢市において「移植がもたらす無限の喜び」をテーマとして開催されました。今回、全国協議会からの応募演題はポスターに採択され、3日目最終日にポスター展示、説明を行いました。また、大会長の中尾眞二先生にご了承いただき、期間中メイン会場の通路において啓発ブースを開設しました。会期を通じて地元加盟団体「はとの会」の会員にもご協力いただき、志村大輔基金の案内を含めた全国協議会のチラシを配布することもできました。

ポスター発表では、「移植法制定後の患者・ドナー支援の在り方に関する考察」と題した演題で、これまでの協議会の足跡を中心に、法制定を受けたこれからの移植医療についての考察を展開しました。会議、製薬企業への挨拶まわ

り等でポスター前で説明する時間はあまりありませんでしたが、それでも熱心な参加者からいくつか質問も受けました。移植が盛んな施設のコメディカルの方からの、「今後は造血幹細胞移植後のリハビリも大切ですね」というコメントや、海外バンクのドナー登録年齢について移植成績との関連を聞かれる場面もありました。また、会場内を移動していると数名の顔見知りの医師から「ポスター見ました」と声をかけられるなど、やはり抄録に掲載され、そしてアピールし続けることの大切さを実感しました。(三田村)



ポスター発表する三田村副理事長

※なお、立候補者のなかった役員については、役員選考規程第13条に基づき、役員選考委員会により、役員有資格者が選出されます。

募金箱設置協力に謝意を表し クスリのアオキ本社表敬訪問

日本造血細胞移植学会開催前日の3月6日、北陸・信越・北関東にて180店舗を展開しているドラッグストア「クスリのアオキ」本社(石川県白山市)を、「いしかわ骨髓バンク推進・はとの会」の榎見代表と全国協議会の黒川事務局長とともに表敬訪問しました。

訪問の目的は、「白血病患者支援基金」への長年にわたるご寄付への謝意を表すためでした。出迎えてくださった総務部の蔵角部長・笹井課長より、関係者の白血病発病がきっかけとなって骨髓バンク運動に協力された経緯や、募金活動の状況を伺いました。地元で活動するはとの会に敬意を表し、「クスリのアオキこぼとの会」として活動を始めたなど、初めて伺うエピソードも多く、貴重な時間となりました。



(山村)

2500号発行にあたり、 「NPO」を思う

1990年7月の創刊以来、小紙も号を重ね、今回で2500号を迎えました。当初は不定期刊行でしたが、先人の努力で第31号(95年1月)より月イチの発行を実現し、足掛け24年での到達となりました。小紙刊行の目的は、全国協議会および構成会員(加盟団体)の活動の紹介、骨髓バンクや造血細胞移植医療の動きの紹介や課題提起です。タイムリーな話題提供、時代を先取りした記事掲載を常に心がけてはいますが、紙面の評価については読者諸氏の判断に委ねたいと思います。

誤解を恐れずに記しますが、2500号という数字は決して

心からのご寄付に 感謝申し上げます

2月21日～3月20日

| | | |
|-------|----|---------|
| 藤波 敬子 | 現金 | 10,000円 |
| 竹田 幸子 | 現金 | 5,000円 |
| 塩谷 圭 | 現金 | 1,000円 |
| 赤代 真也 | 現金 | 5,000円 |
| 飯島 孝枝 | 現金 | 2,340円 |
| 匿名 | 現金 | 5,000円 |

●白血病患者支援基金

| | | |
|------------------------|---------|----------|
| 加古川中央ライオンズ「いのちをつなぐ講演会」 | 現金 | 200,000円 |
| 姫路中央病院 | 現金 | 4,990円 |
| 信和内科クリニック | 現金 | 1,351円 |
| 株式会社 東洋彫刻製作所 | 現金 | 7,093円 |
| イオン都城店 | 現金 | 12,366円 |
| 仁左衛門吟亭 | 現金 | 4,676円 |
| 仁左衛門吟亭 | 書き損じはがき | 92枚 |
| 今治公民館 | 現金 | 705円 |
| 嶋津 桂子 | 現金 | 3,000円 |

●佐藤さち子患者支援基金

| | | |
|-------------|----|---------|
| 財団法人 倉敷中央病院 | 現金 | 15,370円 |
| 竹田 幸子 | 現金 | 5,000円 |
| トリイ ミユキ | 現金 | 10,000円 |
| ウツキ トヨコ | 現金 | 500円 |

●志村大輔基金

| | | |
|-------------|----|---------|
| 高橋 昌子・佐藤 両角 | 現金 | 10,000円 |
|-------------|----|---------|

(敬称略)

東日本大震災被災者支援基金

2月21日～3月25日

| | | | |
|---------------|-------|----|----------|
| ノーレート麻雀ネットワーク | ニューロン | 現金 | 210,500円 |
| 越田 光重 | | 現金 | 3,000円 |

(敬称略)

寄付受入 合計 11,958,381円
給付実績 48件 合計 8,247,882円

※2011年4月に開設しました
東日本大震災被災者支援基金は、
2013年3月31日で終了いたしました。

活動趣旨にご賛同を頂き、ありがとうございます。
2012年度賛助会員
福豊帝酸 株式会社 (敬称略)

訃報

公的骨髓バンク設立以前から、全国協議会の法律的な問題についてサポートくださった、宮田信男弁護士が3月23日に逝去されました。ご生前のご厚情に心より感謝申し上げます。次号に追悼文を掲載いたします。

うまいうるわし奈良で開催

2013 骨髓バンクボランティアの集い in 天理

当初8月に予定しておりました今年度のボランティアの集いは、炎暑の夏から初夏に繰り上げて6月8日に開催いたします。

主管団体として、なら骨髓バンクの会が全国の皆様をお迎えします。

奈良県在住、骨髓移植を受けた盲目のピアニスト・市川純也君のコンサートや雅楽など、「本物を楽しめる奈良」を堪能していただく企画を計画中です。

全国より多くの皆様のお越しをお待ち申し上げます。

なら骨髓バンクの会 岡田宗一

日時 2013年6月8日(土) 13時30分～17時
会場 陽気ホール(奈良県天理市)

※翌日には総会・代表者会議が開催されます。
詳細は、全国協議会のホームページでお知らせします。

関西パワー炸裂! ゴールドジムスクール発表会2013

3月20日、「高槻現代劇場」(大阪府)で『骨髄バンク・東日本大震災チャリティイベント』ゴールドジムスクール発表会2013〜が開催され、全国協議会にもご寄附をいただいたこととなり、贈呈式に出席いたしました。

これまで関東地区では発表会が開催されていませんでしたが、今回初めて関西でも開催され、バレエ・ダンス・エアロビクス・空手など、子供から大人まで、ゴールドジム近畿の各店舗から26チームが参加し、日頃の練習の成果を667名の来場者の前で思う存分披露されました。



(山村)

「雀の羽」は大きな愛となって患者さんを支援

健全な麻雀文化を普及する非営利団体「ニューロン」では、2005年からチャリティ事業を行っています。

今年、各校舎の月例会大会特別版として、3月10日に町田校・池袋校・川崎校で「震災チャリティ大会2013」を開催、各会場毎に36名ずつ、合計108名が参加しました。

ニューロン西日本統括の山口明大氏から、全国協議会で取り組んでいる「東日本大震災被災者支援基金」の支援状況を参考に、震災から2年



(ニューロン代表 池谷)

ブロックセミナー報告

●東北

3月16・17日の2日間、岩手県盛岡市のホテル東日本にて東北ブロックセミナーを開催しました。参加者は福島、宮城、秋田、岩手ほかから、合計24名でした。

はじめに全員で市川会長ほか、物故者への黙祷をささげた後、四方田副理事長から「志村大輔基金」「東日本大震災患者支援基金」について説明を受け、全国協議会の財政状況や理事会等について質疑が行われました。

各地の活動状況の報告では、宮城県は速報で24年度ドナー登録会開催252回、登録者数1,510名との報告があり、秋田、岩手からは登録会の行政開催主体に移行が進んでいると報告され、県により活動方針の違いがあることが浮かび上がりました。

二日目は朝9時から、「どうする骨髄バンクの未来」と題し、造血細胞移植推進法の施行に伴うボランティアの役割や今後のあり方について真摯な討論を行いました。その結果は全国協議会に対する東北ブロックからの提言としてまとめました。

(右手の会 橋本)

●東海・北陸

寒さも和らぎ、桜の開花が始まった3月20日、東海・北陸ブロックセミナーが名古屋市立大学病院(名古屋)で開催されました。

今回は、全国協議会の共催事業である、あいち骨髄バンクを支援する会の『日本骨髄バンク移植一万五千例到達記念イベント「いのちのシンフォニー」』よりよい移植医療環境を目指して『を』を、ブ

ロックセミナーの企画として位置づけさせていただきました。

第一部では、「移植後のよい生活をめざして」と題して移植コーディネーターより晩期障がいについて講演がなされ、第二部の基調講演では、野村副会長から造血細胞移植法の概要が解説されました。

続いてトークショーに移り、患者、ボランティア、医療関係者の体験談や日々の悩みなど、互いに共有すべき課題などを、フロアからの意見を交えながらディスカッションしました。

イベントの締めくくりでは、元氣を取り戻して再び社会復帰された元患者さんの歌声や「医療系バンド」の演奏を楽しみました。来場下さった方々の笑顔から、私達が勇気をもらったような、素晴らしいブロックセミナーとなりました。

(中野)



●近畿・中国

2月23日、近畿・中国・四国地区合同ブロックセミナーが、姫路駅前にある西播地域地場産業振興センターにて開催されました。

お忙しい中、21名の方に集まっていたいただき、骨髄バンクの現状や、野平理事による欧州視察をスライドを見ながら報告を受けました。

そのあと各地域の方たちから、どのような方法で活動をし

ているかなど、現状報告をされ、また意見交換など4時間の長時間もあつと言う間に終了いたしました。

そのあとは姫路城を見にいかれたり、懇親会に参加されたりしました。

いつもは近畿ブロックだけのセミナーですが、今回のように中国と一緒のセミナーもいいのではと感じました。

(姫路の会 濱田)



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。



「いのちをつなぐ」 講演会

2月11日に、加古川中央ライオンズクラブ主催の講演会「いのちをつなぐ」が加古川市民会館で開催されました。

第一部は大谷貴子さん、第二部では「戦場のカメラマン」渡部陽一さんが講演されました。800名もの来場者が会場に溢れました。

後日、加古川中央ライオンズクラブ様と清流ライオンズクラブ様より253,203円の会場募金をご寄附としていただきましたが、大谷貴子さんのお話に感動されて、15万円を募金された方がおられたようです。今回いただいたご寄附の中から20万円を、「白血病患者支援基金」に入



(姫路の会 濱田)

インターンシップ体験

私は2月25日から3月1日までの5日間、全国骨髄バンク推進連絡協議会でインターンシップ(就業体験・職場見学)を体験しました。

体験内容は、志村大輔基金の資料まとめや送付物封入作

業などでした。ひとつひとつ手作業で行ったので、体力的にも大変でしたが、資料を一部作るのにも、膨大な時間をかけて作成していると実感しました。また数多い資料のまとめなどを効率よく手早くや



高野華子さんと事務局フルメンバー

高野華子

骨髄バンクの最新情報をお知らせする———骨髄バンク NOW

(財団マンスリーJMDP (3月15日発行)より抜粋)

- 2月に実施された月間移植件数が131例に
平成25年2月に実施された移植件数が、月間の移植例数としては過去最高の131例となりました。これで平成24年度の移植件数は2月末現在で1,230例となり、3月の移植見込を加えると昨年度の1,272例を大きく上回ります。ドナーの方々をはじめ、採取施設の担当医師、調整医師の先生方、コーディネーターを含む関係者の方々のご尽力に改めて感謝申し上げます。
- 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科の認定について
以下の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科として認定されました。これまでに認定された施設は45施設です。
- 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設・移植診療科
・採取施設
旭川赤十字病院 同左 血液・腫瘍内科
※ただし、採取については、造血幹細胞測定体制が確認できるまで保留とします。

◆日本骨髄バンクの現状(平成25年2月末現在)

| | 1月 | 2月 | 現在数 | 累計数 |
|---------|-------|-------|---------|---------|
| ドナー登録者数 | 3,082 | 2,791 | 428,103 | 573,018 |
| 患者登録者数 | 261 | 209 | 3,056 | 38,050 |
| 移植例数 | 101 | 131 | - | 15,281 |

■2月の年齢別ドナー登録者数(現在数)
10代 2,879人 / 20代 71,622人 / 30代 152,564人 / 40代 160,757人 / 50代 40,281人

■2月の20歳未満の登録者306人
2月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム / 1,031人、献血併行型集団登録会 / 1,699人、集団登録会 / 0人、その他 / 61人

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
平成24年7月より集計方法が変わりました。